

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200172
事業所名	グループホーム稲武の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 年々高齢化とともに重度化となることは致し方なく、また山間地域とあって人が賑わう場所も少ないことは否めないものの、打開策として幼児をもつ母親との交流を年々重ね、事業所の一つの目玉企画として定着させています。また管理者も有志の一人として立ち上げに加わった『ほっこりサロン』へ遊びに出向くことも定期となり、本年度は地区住民が集う場で意見発表の機会も得ています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、地域、行政と顔を揃え、隔月開催が叶っています。雑談めいた話からやや難解な話まで多様な事柄において気軽に言いあうことができ、特に地域包括支援センターからは具体的な助言を得るのみならず入所相談も上がっており、事業所としてはギブギブテイクでの恩返しができるように常にアレコレ模索しています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 豊田市が開催する研修会、事業者連絡会等の集いには参加できるよう調整に努めています。当事業所がある付近は土砂災害の指定地域となっており、防災計画の立案にも役立つ情報を市から学び、災害対策につながっています。また「災害訓練は年3回以上実施すること」との市の指導も遵守しています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月利用者本人の様子を手紙でしたため、面会の少ない家族にも現状を理解してもらえるよう取組み、家族の安心を担保しています。また、面会では家族が話をしやすいように職員一人ひとりが工夫のうえかかわることが接遇を超えて浸透していることも当事業所の特長の一つです。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	0
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	